



青年省にて行った靴の寄贈式



スポーツ庁を訪問し共同長官補佐官らへあいさつ



寄贈された靴に大きな歓声をあげる皆さん



色彩豊かな伝統の踊り

出会う人
みんなが笑顔で
とても温かい国
だと感じました



林心優(左)さん・愛莉(右)さんによる模範組手

一緒に空手を
練習し、真剣さや
楽しさを分かち
合えました



「空手日本杯」の入賞者と記念撮影



子どもたちと合同練習

ニカラグアを訪問 友情の絆、さらに深く

日本とニカラグアの外交関係樹立90周年を記念し、森平町長と中学生を含む町使節団7名が11月6日から13日まで、ニカラグア共和国を訪れました。町として2度目の訪問となります。

町とのつながりは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でニカラグア代表選手団の「大会後交流ホストタウン」に登録されたことがきっかけです。

使節団は7日、在ニカラグア日本大使館とJICAニカラグア事務所を表敬訪問した後、青年省を訪れました。青年省では大臣との意見交換や、町の皆さんから寄せられた靴の贈呈式が行われました。



町と交流のある柔道のマレンコ選手(右・東京2020、パリ2024オリンピックに出場)と再会



町が寄贈した消防車の運用状況を視察

KANRA × NICARAGUA



9日には外交関係樹立90周年記念大会「空手日本杯」に出席し、林心優さん(甘楽中・3年)と林愛莉さん(甘楽中・1年)が空手デモンストレーションや道着を贈呈。大会前日には現地選手との合同練習を行い、交流を深めました。

10日には、町が中古消防車を寄贈したエル・ロサリオ市を訪れ、車両の運用状況や日本の支援で建てられた中学校を視察。ニカラグア教育大臣も同席し、現地生徒と林姉妹による文化交流も行われました。

ホストタウンで芽生えた縁が文化やスポーツへと広がり、遠く離れた国で「KANRA」の名が笑顔とともに響く訪問となりました。



現地消防署員と記念撮影



エル・ロサリオ市で空手の形を披露する林姉妹



中学校での授業を視察

団員名簿	
森平 仁志	町長
林 心優	甘楽中3年 (東アジア選手権大会女子組手銀メダル) (アジア選手権大会女子組手銅メダル)
林 愛莉	甘楽中1年 (世界空手道選手権大会女子組手優勝)
林 恵	保護者
森田 隆博	JICA出向職員
黒澤 翔	(公財)甘楽町国際交流振興協会事務局
稲葉 エンツァ	甘楽町地域おこし協力隊



日本大使館を訪問し荻野大使(中央右)と遠田領事兼警備対策官(左)と撮影する使節団

アスタ プロント ニカラグア
¡Hasta pronto Nicaragua!
また会いましょう ニカラグア!





甘楽中学校の取り組み

甘楽中開校十周年記念行事 文化祭

今年度の甘楽中学校の様子をお伝えします。開校十周年を記念し、例年の合唱大会を拡大し、文化祭として開催。生徒それぞれの心に残った思い出をインタビュしました。



▲中学校HP

甘楽中学校
校長 井上高広
生徒 301人

生徒会長

中野 菜

展示から有志のステージ発表まで、すべてが初めての挑戦だったけれど、仲間と協力して準備していく中でやりがいを感じました。先生方や全校生徒の皆さんのおかげで、当日はとても楽しく、思い出に残る最高の文化祭になりました。

文化祭実行委員代表

藤原 陽音

みんなでつくりあげた文化祭は私にとって忘れられない思い出になったと思います。全校で協力し準備・運営したことで達成感を感じることができたと思います。最高の思い出を全校でつくることができました。



展示会

一年生

合唱練習を始めたころは声が出ていなかったり、ほかのパートにつられてしまったりすることがあったけれど、たくさん練習を積み重ね、本番では今までで一番きれいな歌声で歌うことができました。最優秀賞にはとどぎませんでしたが一年一組の思いが一つになりました。

二組 荒木 梨花

最初は、大きな声を出すことや音程を合わせるのが難しかったですが、先生や指揮者のアドバイスをもらい練習を重ねました。その結果、最優秀賞を取ることができました。二組のみんなと全力で歌いきることが出来て良かったです。



笹の森 巫女舞

有志による発表

三組 高野 なずな

初めは、タイミングやハモリが上手にできませんでしたが、だんだん練習をしていくうちに、上達し、指揮者や伴奏者とも、一つになれました。また、先輩たちの良いところを真似し、合唱大会の日を迎えました。最優秀賞にはとどぎませんでしたが、最高の一日の思い出になりました。

二年生

一組 越田 星那

楽譜をもらい、練習を始めたばかりのころは声も出ず、ハーモニーもバラバラでしたが、放課後や休み時間の歌練習を通して本番では最高の合唱を披露することができました。最優秀賞にはとどぎませんでしたが、クラスの仲間との絆をさらに深めることができました。

二組 土屋 祐奈

初めはクラスの元気さと曲の繊細



文化祭スローガン
奏皆
～響け！輝け！甘楽中生！～

人生100年時代を生きる

スクールカウンセラーとして、小幡小学校と福島小学校に勤務しています。私が甘楽町に伺うようになり、早いもので8年目になります。児童の皆さんや保護者の皆さんとお話させていただくことはもちろん、毎年1回各学年でストレスマネジメントやコミュニケーションの授業をしています。その中で感じることは、甘楽町は地域の子どもたちに本當にいていねいに関わり、その積み重ねから子どもたちの生きる力となる「非認知能力」が育まれているということだと思います。

人生100年時代の到来。現在の若い世代の子どもたちは、半数以上が100歳を超えて生きると言われる時代になりました。また、AI

教育相談室

◆問い合わせ
教育課学校教育係
☎(64)8323

の活用が進み技術も進化し、これからの時代は自己理解やコミュニケーション、意欲、そしてレジリエンス(しなやかな強さ)などの「非認知能力」を育むことがますます難しく、しかしながら大切な時代になると感じています。この「非認知能力」を育むことで、子どものウェルビーイング(心身の健康や幸福などよい状態であること)を高めることができると思います。私自身もこれからの時代の人間力の向上を考える毎日です。

家にいるお父さんお母さんはニコニコ笑顔でいることがお子さんにとっては何よりのエネルギーになります。お忙しい毎日と思いますがどうぞ心を休めに、またこれからの時代のコミュニケーションについて対話にいらしてください。

な雰囲気合わず、どうすればきれいな合唱にできるのか悩む日々が続きましたが、みんなで案を出し合い練習に励みました。そのおかげで、三冠が取れ努力は裏切らないことを身をもって感じられました。

三組 田村 唯都

最初はやる気がある人となない人がいて全然まとまりがありませんでした。しかし、少しずつ声もやる気も出てきて最優秀賞を目指せるというくらいまで良い合唱ができるようになっていきました。残念ながら最優秀賞は取れませんでした。クラスのみんなで成長できたのでよかったです。

三年生

一組 佐俣 杏誠

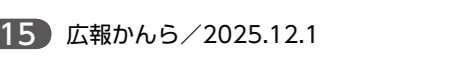
私はこの甘楽中学校開校十周年記念行事でもあった合唱大会を通して、クラスのみんなと、とても良い思い出ができました。みんなでより良い合唱にするために練習に励み、本番では自分たちだけの合唱をつくることができました。

開校十周年記念の文化祭・合唱大会を終えて、初めての文化祭ということで全校が一つの目標に向かって頑張り、合唱含めて学年やクラスの仲がより一層深まったと感じました。とても楽しかったです。

二組 岡部 煌将

合唱では伸び悩む時期が多くありましたが、仲間を信じ、思いを込めて歌うことで私たちの絆が深まり、合唱する時間が思い出の時間となりました。文化祭も盛り上がり、中学最後の行事で最高の思い出がつくれてよかったです。

三組 河原 憂奈





大盛況！炊き出し試食コーナー

ボランティア連絡協議会(萩原公子会長)は、11月3日の産業文化祭に「災害時非常用炊き出しコーナー」を開設しました。

体験コーナーでは、来場者に「米と水1合を専用の袋に入れ、空気を抜き輪ゴムで止める作業」、実演コーナーでは、「移動式炊飯器を使い米を炊いて蒸らす作業(1回に30~40袋を入れ、20分

炊いた後に10分蒸らす)」を行いました。

炊きあがったご飯を使い、カレーライスの試食コーナーを設けると、予定した300食はあっという間に終了となりました。

ご協力いただいたボランティアの皆さん、大変ありがとうございました。



災害時に役立つ米の炊き方を体験



今年も長い行列ができたカレーライスの試食

ボランティア連絡協議会 研修会

ボランティア連絡協議会(萩原公子会長)は、10月15日にら・ら・かんで「健康生活支援講習」を開催し、会員60人が参加しました。

日本赤十字社群馬県支部の講師を迎え、地域での支援活動や信頼関係づくりについて学んだ後、リラクゼーションやハンドケアを体験。温かい手のぬくもりに癒やされながら、自然な交流の大切さを感じる講習となりました。



ハンドケアを体験する参加者の皆さん

善意の紹介

一般寄付金 ※町民の福祉増進のために使用

- 甘楽町商工会チャリティーゴルフ大会 (山崎 隆 会長) 60,000円



牛木会長に寄付金を手渡す山崎会長(右)

善意に深く感謝し、
広く皆さんにお知らせします



甘楽町老人クラブ連合会 第57回グラウンドゴルフ大会

甘楽町老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会が10月7日、甘楽ふれあいの丘陸上競技場で開催されました。

今年度2回目の開催となった本大会には、27

チーム155人の会員が集まりました。参加した選手たちは、チームの優勝とホールインワンを目指して熱戦を繰り広げました。

上位成績は次のとおりです。

団体の部		
優勝	笹森福寿会 A	240打
準優勝	轟 A	241打
第3位	金寿会 A	250打

個人の部 ※敬称略		
優勝	松井靖雄(轟)	35打
準優勝	山崎泰弘(小川)	35打
第3位	大塚貞勝(福島)	36打



優勝した笹森福寿会 A チームの皆さん



甘楽町老人クラブ連合会 第35回交通安全スポーツ大会

第35回交通安全スポーツ大会が10月17日、甘楽ふれあいの丘陸上競技場で開かれ、17クラブ145人が参加しました。

初めに小幡駐在所の川嶋健二さんを講師に迎え「交通安全講話」が行われました。

この日は、軽スポーツを通じて会員相互の交流・親善を深め、楽しく過ごせる場の確保、生きがいや健康増進を図ることを目的としたスポーツ大会も開催し、「輪投げ・スマイルボウリング・玉引き競走」の3種目を行いました。

県内で交通事故の発生場所で最も多いのが駐車場(36%)、次いで国道(26%)、町道(20%)です。スーパーなど車の出入りが多い場所や自宅から300m以内の事故が増えています。夜間は明るい服装や反射材で安全確認を。運転者はもちろん歩行者も注意してください。

また、特殊詐欺は県内116件、投資詐欺81件で約9億8千万円の被害が確認されました。知らない番号は出ずに、不審な話は詐欺と考慮して対応してください。

順位	輪投げ	スマイルボウリング
優勝	轟長寿会	轟長寿会
準優勝	天引第二長寿会	第一慶寿会
第3位	鍋川会	第三慶寿会



盛り上がりを見せる玉引き競走

